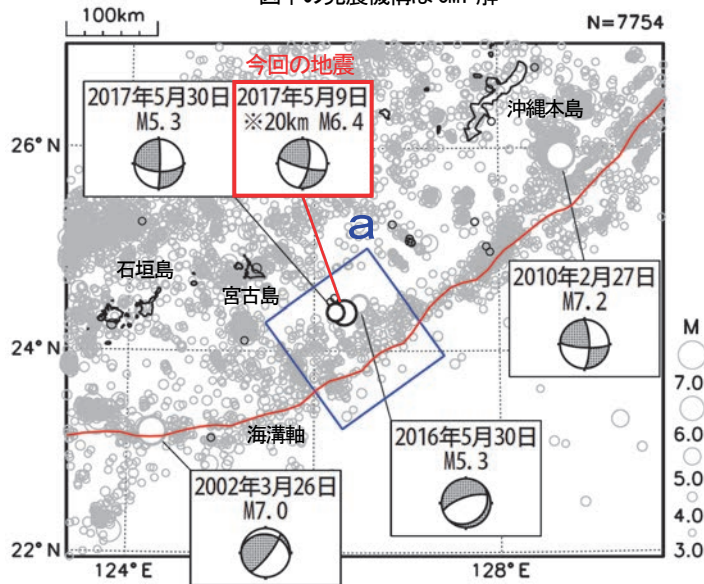


5 月 9 日 宮古島近海の地震

震央分布図

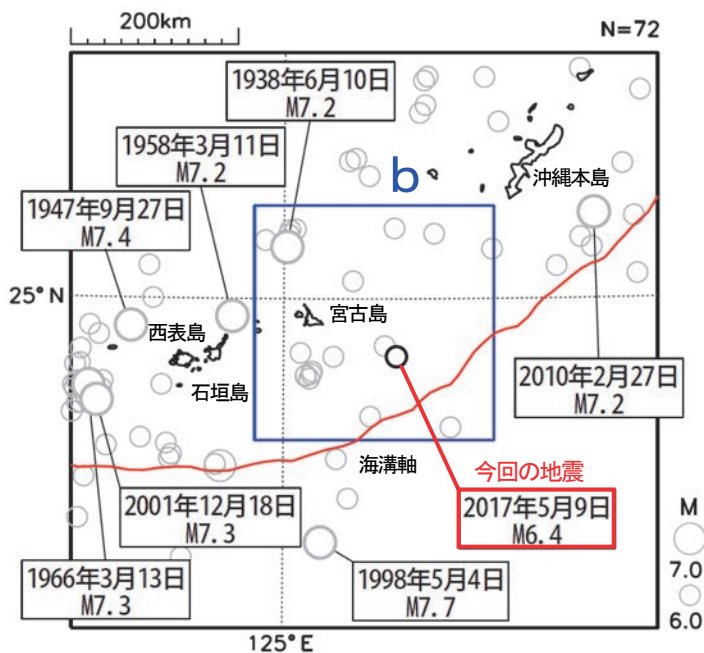
(2000 年 7 月 1 日～2017 年 5 月 31 日、
深さ 0km～200km、 $M \geq 3.0$)
2017 年 5 月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



※今回の地震の深さは CMT 解による。

震央分布図

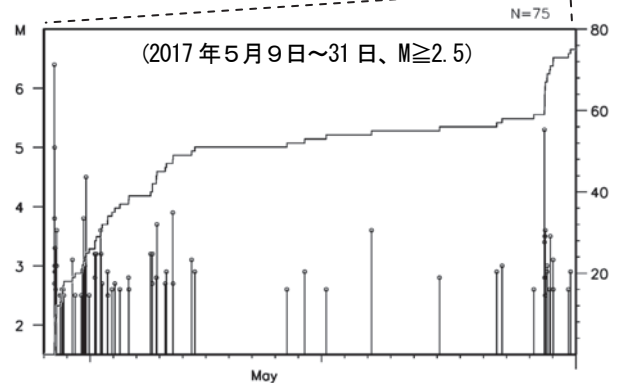
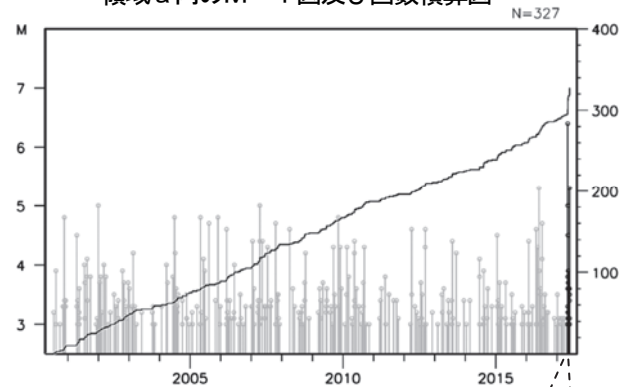
(1923 年 1 月 1 日～2017 年 5 月 31 日、
深さ 0km～200km、 $M \geq 6.0$)



2017 年 5 月 9 日 10 時 54 分に宮古島近海（宮古島市の東南東約 120km）の深さ 20km（CMT 解による）で M6.4 の地震（最大震度 3）が発生した。発震機構（CMT 解）は、北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型であった。その後、ややまとまった地震活動があり、5 月 30 日に M5.3 の地震（最大震度 1）が発生した。

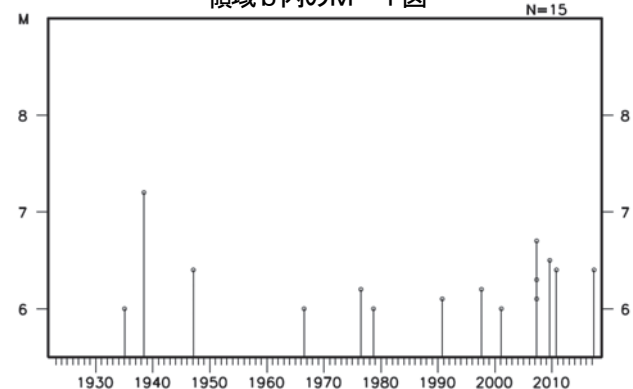
2000 年 7 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、2016 年 5 月 30 日に M5.3 の地震（最大震度 1）が発生するなど、M5 程度の地震は時々発生していた。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では M6 程度の地震が時々発生している。そのうち、1938 年 6 月 10 日に発生した M7.2 の地震（最大震度 4）では、宮古島平良港で 1.5m 程度の津波が目撃されており、桟橋の流出などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 b 内の M-T 図



（この期間は検知能力が低い）